

2022年度私大医学部入試 解答速報(解説付き)

埼玉医科大学(前期)【英語】

解答速報 実施大学

- ◆杏林(医)
- ◆東京医科
- ◇埼玉医科(後期)
- ◆東北医科薬科
- ◆埼玉医科(前期)
- ◇日本医科(後期)
- ◆関西医科(前期)
- ◆東京慈恵会医科
- ◇昭和医科(II期)
- ◆近畿(医/前期)
- ◆大阪医科薬科(前期)
- ◆昭和(医/ I 期)

私大医学部後期入試対策講座受付中！

後期入試対策講座 実施大学

講座詳細は下記まで
お問い合わせください

受講料
無料

【東京お茶の水校】

・金沢医科 ・久留米(医) ・埼玉医科 ・昭和(医) ・聖マリアンナ医科 ・日本医科

【大阪梅田校】

・大阪医科薬科 ・金沢医科 ・関西医科 ・近畿(医) ・久留米(医) ・藤田医科



医学部・医系 専門予備校

進学塾ビッグバン

東京お茶の水校

大阪梅田校



イ シ ャ ニ ナ ロウ
0120-148-276

www.bigbang-web.jp

進学塾ビッグバン

検索

【講評】

第1問「文法問題、語句整序」

すべて基本的な文法問題であり、難易度は高くない。全問正解を目指したい。

第2問

「動物の、人間に及ぼす影響」に関する長文問題。例年は第2問で会話文が出題されていたが、形式が変わり、通常の長文問題となった。レベルはやや易～標準。選択肢も紛らわしいものは少ないため、落ち着いて高得点を狙いたい。

第3問

「化石が作られる過程とそれが進化に関して示唆すること」に関する長文。レベルは標準。文脈をとらえることができれば、選択肢も迷うものは少ない。

第4問

「固定観念の脅威」に関する長文。レベルは標準。問6は art に科目という意味があることを知らない場合は正解にたどり着きにくい。他の問いは文中の対応部分も見つけやすく、解きやすい。

第5問

「救命医が研修医として働き始めた際の随筆」。例年通り、医師に関する随筆が出題された。他の読解問題と比較して長い。レベルは高くないので、落ち着いて高得点を狙いたい。

【解答・解説】

1

- 1 ② 「あなたが東京行きの5時の電車に乗ることができるとは思えないな。」
「あーあ。チケットを変えてもらわなければならないだろう。」
・ get O 過去分詞 「O を～してもらう」
▷ get O to+動詞の原形 「O に～させる」
- 2 ② 「私たちの飛行機は濃霧のために遅れていた。私たちは空港でほとんど4時間待たされた。」
・ be made to+動詞の原形 「～させられる」(使役の受け身)
- 3 ① 「多くの人々が昨晚コンサートにやってきた。少なくとも1000人はいたに違いない。」
・ must have 過去分詞 「～だったに違いない」
・ used to 動詞の原形 「以前は～したものだ」
- 4 ② 「地方自治体は、電車に向かって突進することにより引き起こされる事例のような転倒やケガを厳しく取り締まるためにエスカレーターのエチケットを強化しようと働きかけていると私は聞いている。」
・ those 代名詞 「(修飾語句を伴って)～のもの、人々」
▷ these 代名詞 には「これら」の意味しかない
- 5 ③ 「政府がその問題により深く関与することが重要だろう。」
・ be involved in~ 「～に関与する」
▷ It は形式主語、to 不定詞は真の主語、for the government は to 不定詞の意味上の主語
- 6 ② 「上の階へと家具を運んでいたときに左の足首を負傷した。もっと注意深くあるべきだったのに。」
・ should(ought to) have 過去分詞 「～すべきだったのに(しなかった)」
- 7 ④ 「彼は50歳の時にその役職を退いたが、それは当時のその会社の慣例であった。」
・ 先行する節を受ける which(非制限用法)
- 8 ① 「私の兄(弟)は水泳が上手ではなく、そして私もまた得意ではない。」
・ neither V S 「S もまたそうではない」(S は前文と異なる)
▷ neither S V 「その通りだ」(S は前文と同一)
- 9-⑥10-⑤ [There are some professors who are aware of the difficulties associated with introducing a speaking test in the examination.]
「試験にスピーキングのテストを導入することに関連した困難を認識している教授もいる。」
・ 関係代名詞主格の who に be aware of~ 「～を認識する」がつく形
・ difficulties を associated with の過去分詞句が後置修飾
- 11-③12-⑤ [The old man is said to have devoted himself to helping poor people in that country.]
「その老人はその国で貧しい人々を助けるのに身を捧げたといわれている。」
・ to have 過去分詞…to 不定詞の時制下げ
・ devote oneself to~ 「～に身を捧げる、熱中する」

13 ③

「文章によると、人間と動物の交流に関する研究について正しいのはどれか」

- ・第2段落4行目に「Research on human-animal interactions is new.」「人間と動物の交流に関する研究は新しい。」とある。

14 ②

「(A), (B), (C) に最もふさわしいのは次のうちどれか」

- ・第1段落4, 5行目にあるように、本文のテーマは「動物から得られる健康面での恩恵」である。空欄を含む文章を参照すると、「(A) は減少し、(B) の感情と (C) は増加ないし向上する」と書かれている。(A) には負の感情である「loneliness」が該当する。(B) は感情の具体的内容を示す言葉が入るから「social support」が該当する。

15 ③

「文章中の『それ一つでどんな場合にも通用するようなものはない。』という表現に最も近い意味のものは次のうちどれか」

- ・第3段落は、1行目「ペットがある状況にいる人間を助けることができる方法についての統一的な答えはない。」について述べた段落であることを踏まえる。

16 ④

「文章によると、セラピードッグの利点は何か」

- ・第4段落2行目「They're sometimes brought ... to help reduce patients' stress and anxiety.」が④と一致している。

17 ②

「文章中のマインドフルネスという言葉に最も近い意味のものは次のうちどれか」

- ・第5段落2行目「The foundations of mindfulness include attention, intention, compassion, and awareness.」「マインドフルネスの基礎は、心遣い、意思、思いやり、気づきを含む。」の説明が②と一致する。

18 ①

「文章によると、なぜエスपोर्ट博士はペットが病院内にいることを心配しているのか。」

- ・第6段落1行目「動物によって人間が多く細菌に晒されるかもしれないので、研究者たちは動物を病院内に持ち込むことの安全性を研究している。」とあり、次の文よりエスपोर्ट博士がこの研究を行っていることが分かる。

19 ③

「文章によると、セラピードッグと協力した ADHD の子供に関する結果を最もよく説明しているのは次のうちどれか」

・第7段落5行目「kids … showed better social skills …」、6行目「They (←kids を指す) also had fewer behavioral problems.」が③と一致する。

20 ①

「この文章について正しいのは次のうちどれか」

・第1段落4行目「誰が動物から恩恵を受けるのか?」「健康面での恩恵は何か?」が文章のテーマであるから①が正解。

3

21 ④

・「explain away」が「言い逃れする」という意味だと知っていれば即答できるが、そうでなくとも第1段落3行目「化石の本当の意味はかなり後まで認識されていなかった。」などを踏まえると、化石の意味が正しく説明されていなかったことが分かる。

22 ④

・第2段落冒頭の文の文構造を把握する。「within these petrified remains」は副詞句であり、「the history of life」が名詞句であることを考えると、動詞が不足していることから、「④lies」を入れる必要がある。M (副詞) + V (動詞) + S (主語) の倒置が起こっていることに注意する。

・なお「remains」は動詞ではなく、「遺骸」という意味の名詞であることもポイント。

23 ②

「典型的に、陸上生物よりも水生生物の化石のほうが多いのは、前者（水生生物）の化石は（ 23 ）しやすいからだ。」

・第3段落2～4行目に、「化石となるためには遺骸が海底に沈む必要がある。陸上生物の遺骸が湖や海の底で見つかることは滅多にないが、水生生物は死ぬと自然に海底に沈む。」と書かれている。これを踏まえると②が適当。

24 ①

・「What remains is a cast…」であることから、「cast」とは化石の硬い部分が分解された後に残る部分のことを指している。物体であることから「mold(鋳型)」か「hard inner skeleton(内側の硬い骨)」のいずれかである。化石の硬い部分は分解された鋳物になることから、残るのは①「mold」であると考えられる。

25 ②

・第4段落5～7行目に、「骨や歯など硬い部分は豊富に残っているが、幼虫、クラゲ、バクテリア、か弱い生物などはかなり稀少だ。」と書かれており、このようなことが(25)を作っていると考えられる。現代の人間は、太古の植物や生物の柔らかい部分について詳しく分からないのだから、②「mythological justification(神話的な正当化)」をしているのだ。

26 ②

「我々が未だ発見していない化石は沢山ある。風や雨が浸食によって堆積物を(26)した時だけ、我々は化石を掘り出すことができる。」

・第5段落3行目「Only when the sediments are raised and exposed …」と対応している。「raise and expose」に最も意味が近いのは、②unveils(覆いを取る)」である。

27 ③

・最終段落最終文に「それにもかかわらず、我々に良い考えをもたらしてくれるのに十分な化石を持っている。」とあり、③「化石の形で、存在していたに違いない生物の一部は我々にとって未だ利用可能だ。」と一致する。

28 ③

・27と同様に、最終段落最終文に「どのように進化が進んだかについての良い考えを我々にもたらしてくれるのに十分なほどの化石を持っている。」とあり、③と一致する。

4

29 ③

“in the air”は「(雰囲気などが)漂って、広まって」という意味。従って、最も近いものは“in people’s thought”「人々の考えの中にある」。他の選択肢は①「気づくことができない」②「テレビで報道される」③「まさに宙に浮くところである」

30 ①

1段落目7行目に“this fear of stereotype confirmation”「この固定観念を確実にすることの恐怖」とあり、thisが指す内容は空所を含む文であると考えられる。従って、空所には①fearが適切。

31 ④

1段落目7行目“Ironically, this fear of stereotype confirmation can hijack the cognitive systems required for optimal performance and result in (31) test performance.”「皮肉なことに、この固定観念を確実にすることの恐怖は最適化性能に必要な認知システムを乗っ取り、その結果(31)なテスト成績につながりうるのだ。」

試験の成績の質的な話であるため、①と②は不適と考えられる。result inは因果関係を表すので、

result in の前がマイナスな内容であれば、後ろも否定的な内容となる。従って、④が最適。

32 ③

1 段落目 12 行目の“Indeed,” 「実際、」 から、1 段落目 8 行目から記されている、アフリカ系アメリカ人の大学生は固定観念により関係しない状況下であればより成績が上がるといふ仮定と実際の結果が一致したことが示唆される。従って、Aには「固定観念にとらわれないもの」 Bには「固定観念にとらわれるもの」を入れることができれば正解にたどり着く。従って、③が適切。

33 ①

1 段落目全体で、固定観念に関連した状況下に置かれた場合、stereotype threat のせいで低い成績になってしまうことが記されている。従って因果関係を示す contribute to 「…の原因となる」が最適。他の選択肢は result from 「…から生じる」 oppose 「反対する」 improve 「改善させる」原因 contribute to 結果、結果 result from 原因という違いに注意。今回は stereotype threat が原因、low performance が結果となるため contribute to が入る。

34 ①

3 段落目 1 行目に“The phenomenon of stereotype threat has proved to be incredibly popular in academic psychology as well as among the lay public.” 「固定観念の脅威の現象は一般の人々の間のみでなく、心理学においても非常に普及していることが分かった」とあるため、「現代の学問として受け入れられている」の意味となる、art が最適。

35 ④

①「科学的な状況における固定観念の影響を恐れている科学者もいる。」

示唆する表記が本文中にないため、不適

②「女性においてみられる数学と理科に関する固定観念の脅威は調べられていない。」

2 段落目 1 行目～3 行目“Research over the past 15 years has shown that stereotype threat contributes to(問 5 参照) low performance … among…women in math and science” 「過去 15 年間に渡る研究は固定観念の脅威は女性が理科と数学で低い成績をとることの原因にもなることを示した。」の文に一致しないため、不適。

③「軽視されていない人は固定観念の脅威に苦しむ可能性は決してない。」

2 段落目 5 行目“Even groups that are not traditionally disregarded in society can exhibit these effects” 「伝統的に社会において軽視されていない人種でさえ、これらの影響を示す可能性がある。」ここにおける“these effects”は固定観念の脅威が低い成績の原因となることを指すので、③の選択肢は本文に一致しない。

④「固定観念の脅威は心理学においてだけでなく、一般の人々の間でも普及している。」

3 段落目 1 行目“The phenomenon of stereotype threat has proved to be incredibly popular in academic psychology as well as among the lay public.” 「固定観念の脅威の現象は一般の人々の間のみでなく、心理学においても非常に普及していることが分かった」の内容と一致するため、適切。

36 ④

(A) 「この固定観念を確実にすることの恐怖は試験の成績を悪くする可能性がある」

1 段落目の内容と一致するため、適切。

(B) 「この影響は高齢者と彼らの記憶力の間にさえみられる可能性がある」

2 段落目 1 行目～3 行目“Research over the past 15 years has shown that stereotype threat contributes to(問5 参照) low performance … among…the elderly in memory” 「過去 15 年間に渡る研究は固定観念の脅威は高齢者の記憶力の低下の原因にもなることを示した。」とあるため、適切。

(C) 「この現象はしばしば様々な国と様々な人種で繰り返される。」

2 段落目 4 行目“This is a robust phenomenon, then, frequently-repeated in different groups, on different tasks, and in different countries” 「そうならば、これは様々な人種で、さまざまな課題において、様々な国で頻繁に繰り返される、強い現象である。」とあるため、適切。

(D) 「1990 年代に、それは、かつては人格心理学において人気のある話題の一つであった。」

3 段落目の「現在でも普及している」という内容に一致しないため、不適。さらに、人格心理学についての表記もないことから不適とわかる。

5

37 ②

「Sovndal と Sanders の関係を最もよく説明しているのは次のうちどれか」

・ Dr.Sovndal とあるので Sovndal は医者。Sovndal と看護師の会話より、Sanders は患者と分かる。

▷ inpatient 「入院患者」 impatient 「我慢できない」 outpatient 「外来患者」

38 ③

「38 に最もふさわしいのは次のうちどれか」

・ 直前の一文がヒント。Sovndal 先生が看護師の提案に対して「あー、分かりました、いいですね。」と賛同しているので Sixty of Lasix(薬)を投与する流れ。

39 ④

「文章中の 2 か所の(A)に最もふさわしいのは次のうちどれか」

・ (A) or swim とあることから「泳ぐ」と対になる表現が良い。

Swim→泳ぐ≡生き残る…患者の治療に成功、患者を生かす

Sink→溺れる≡死ぬ…患者の治療に失敗、患者を死なす(by sink, I mean getting someone killed.)

40 ②

「40 に最もふさわしいのは次のうちどれか」

・ It's difficult because you're trying to be someone you're not. 「あなたではない何者かになろうとするために、それは困難である。」

この段落には、救命医を目指す研修医(Dr.Sovndal)は様々な診療科を短期間で周ることが書かれている。

つまり、「あなたではない何者か」とは「救命医ではない別の科の専門医」のことである。

▷人を表す選択肢が正答であるため①nothing は不可、そもそも否定語をいれると文脈が通らないので④none も不可、③everyone では「すべての人」となってしまう該当範囲が広すぎてしまうので不可

41 ③

「41 に最もふさわしいのは次のうちどれか」

・前文(Dr.Sovndal の心の声)「*If I got into trouble?*」「もし私が困ったことになったらだって?」を受けてのツッコミが正答。「I was already in trouble.」「もう困ったことになってるよ。」

上級医たちのいう困ったこと→患者の急変などの非常事態

Dr.Sovndal のいう困ったこと→知識の薄い自身が急患に備えて待機させられているという不安とプレッシャーしかない現状

42 ①

「彼女は実際には私を必要としていなかった、という一文の意味を最もよく説明しているのは次のうちどれか」

・下線部の代名詞に注目すると、彼女とは看護師、私とは Dr.Sovndal のことである。

この問題を含む段落の前後にヒントがある。

ICU の看護師たちは大した知識のない見習い研修医たちよりもよっぽど知識があるため見習い研修医たちは用なしだ、という内容であるので①

▷②看護師が患者に治療について尋ねるので Dr.Sovndal に聞く必要はない、③看護師が実は医師の資格をもって別病院で働いている、④他の医師に聞いたので Dr.Sovndal に聞く必要はない、という記述はどれも本文中にないので不適

43 ③

「最終段落における筆者の状況を最もよく説明しているのは次のうちどれか」

①教科書を読むのに忙しすぎて看護師と話すことができない、という記述はないので不適②ひどい胃痛のせいでストレスやイラつきが生じた、とは書かれていない。あまりにも学ぶべきことが多すぎて吐き気やむかつきがしたのである。不適。

③自身の知識不足を強く感じて圧倒された、というのは最終段落の筆者の様子を端的に表している。適切。

④教科書から得た医学知識に自信を持っている、というのは筆者の状況の真逆であるので、不適。

44 ④

「この文章を最もよく説明しているのは次のうちどれか」

①筆者が ICU で治療されたのではなく、筆者は ICU で研修していた医者

②医学的な事例の方向ではなく、研修医としての自身の未熟さについて語っている

③救命医によってかかれた教本ではなく、救命医見習いの研修医のエッセイ

という理由で①②③は不適。

④「実地見習い研修医として働き始めた当時の不安や困惑についてのある救命医の話」
適切。